

# 平成29年度 第1回 運営会議ニュース

日 時	平成29年4月9日(日) 13:30~16:00
場 所	県立座間谷戸山公園 パークセンター(レクチャールーム)
出席者	21名(傍聴者4名を含む)

議題の前に、公園事務所の人事異動者等の紹介を行った。

## 議題1 運営会議会長の選出について

会議参加者から互選により、前年度会長の脇田さん(谷戸山野鳥と自然観察グループ他所属)が再選された。

## 議題2 鳥類の保護について

(会長) 当該鳥類は神奈川県 RDB で繁殖期絶滅危惧種等に指定されており、里山生態系および当公園でもシンボルとなっている。保護のために、昨年初めて5月上旬から7月上旬にかけてシラカシ観察林の一部区間の通行止めを行い、通行止め解除後にはカメラマン等に対する撮影ルールを設け、チラシの配布等での注意喚起も行いながら保護を進めてきた。しかし、今期は、カメラマンが個人行動、または時にグループ化して、シラカシ林内移動中の当該鳥類を執拗に撮影している。現規制は有効でなくなっている。当該鳥類が常時監視されて、撮影によるストレスが高じて、営巣が危ぶまれる。

しかしながら、昨年の通行止めでは園路利用者等から様々な苦情等が寄せられた経緯もあり、今期は通行止めではなくシラカシ観察林内のサインポスト南西8から南西18までの撮影禁止(遠慮、自粛)措置の実施について、運営委員2名の連名で要望書を県土木事務所および公園側に提出した。

(県厚木土木事務所東部センター) 当該鳥類の専門家から意見を聞き、検討した。繁殖が失敗しないように昨年と同等の対策を実施しながら、経過観察を行い、今後の対応を考えていきたい。できる限り多くの意見をお聞きしてから措置を決定したいと考え、今日の運営会議に諮ることとした。

(写楽会) 現在、大勢のカメラマンが撮影に訪れており、野鳥にプレッシャーがかかっている状況。

(公園) 先月の運営会議で現地にカメラマンが集まり始めているという報告を受けてから、朝・夕の通常巡視とは別に2~3回のパトロールを行った限りでは、現地の今までの撮影ルールは守られていた。

(ぼらぼら) 猛禽類が異常を感じた時に出す「警戒声」の有無を参考にすると良いのでは。目がいい鳥類なので、遠くからでもカメラや双眼鏡のレンズの反射に気づいてしまう。

(ふるさとフォーラム座間) 園内の野鳥保護を第一に考えたい。園内の別の場所でも撮影できるはず。

(決定事項) 昨年と同様の区間の南西13から南西18を今日から通行止めとし、さらに南西8から南西18はカメラや双眼鏡を使用した撮影や観察を遠慮いただくこととする。関係者から寄せられた繁殖状況に係る情報をもとに、専門家の助言も参考にして、運営会議で通行止め解除の時期などを決定する。団体のウォーキング等で周辺を通行しないよう公園側で団体側に依頼する。

## 議題3 畑の活用について(東部センター)

(東部センター) 前年度までに、伝説の丘周辺にある畑の半分を買収した(畑の中央部は未買収)。本エリアについて当初は梅林にする計画もあったが、今後の活用についてアイデアをいただきたい。県としては、コスモスや菜の花の花壇としての活用も考えている。

(会長) 里山保全隊の参加者や(新規の)畑のグループで「親子で米作り隊」のような形で畑として利用するか、園内希少種等の保護・育成の圃場として活用するのはどうか。

(グリーンタフ) 圃場としての活用に賛成。盗掘されてしまう草花の保護・育成も良い。

(谷戸田の会) 畑は手間がかかるので、(率先して行える)リーダーがいなければ無理だと思う。

(ぼらぼら) 畑が良いと思うが、具体的な手入れの手間まで考える必要があると思う。

(会長) 畑として活用した場合、収穫物などの扱いについての仕組み作りが必要と思う。

(さがみシェアリングネイチャーの会) 畑は今の風景にマッチしているので残してほしい。

(ふるさとフォーラム座間) 同意見である。

(写楽会) 畑に河津桜があるので、ベンチを置き、桜と里山体験館への眺めを楽しめると良い。生

垣を低く刈込んで体験館が見えるようにすると良い。

**議題4**各ゾーンエリアの管理について ※その他報告事項を参照

**その他報告事項**

●グリーンタフ

長屋門周辺のケヤキが剪定されたが、見栄えがあまり良くない。⇒（公園）隣接住民の方から落ち葉の問題で苦情があったため、剪定を行いました。

●谷戸田の会

・昨日、古代米（赤米、黒米）の種まきを行った。中段の田の半分の荒起しを三本鍬で行った。今後代掻きを行って、6月に田植えを行う。

・上段の田の半分に土手作りと畦塗りをを行い、水が溜まっている状況。

・今後も、谷戸に日差しを入れ、ホタルの生息環境にも配慮し、斜面地の樹木処理を行う予定。

⇒（写楽会）谷戸田にある鳥が止まる木が切られてしまった。⇒（決定事項）今後は運営会議で要望があった場合には切らないようにする。

●座間のホタルを守る会

・上の野鳥観察小屋周辺水路山側斜面の草刈りを行った。今後は水鳥の池側も行っていく。

・3月26日に芹沢公園でヤマアカガエルの産卵が確認された。これまでで最も遅い産卵であり、谷戸山でもまだ産卵の可能性があるので。

●さがみシェアリングネイチャーの会

・今年も年3回のネイチャーゲームを実施する。公園まつりにおいても行う。もちこみイベントで7月と1月にも行う。

●ぼらぼら

・GWの前後で山野草調査を実施する予定。

●写楽会

・水鳥の池にはほとんど鳥がいない。マガモのつがいのみいる。カルガモも産卵に入ったのか、見られない。アオサギは毎日いる。夏鳥はまだいない。シロハラやツグミなどの冬鳥の残りがいる。今年はカイツブリの産卵に期待したい。

・みちくさ広場のネズミムギの抜根を2回行った。もう1回実施予定。

●会長

・植物保護を行う新たなグループを立ち上げる予定。活動予定としては、キツリフネ自生地、わきみずの谷のイチリンソウ自生地の手入れなど、タネの採取やタネまきなど、水鳥の池周辺にサラシナショウマのタネをまいた

●東部センター

・今年度の工事予定について：建物の老朽施設の修繕、危険木の処理、県道42号線災害防除工事と試掘調査（継続）

●公園管理事務所

・年間イベント予定表の修正版の再配付

・樹林地管理5年計画図の修正版の再配付

・クビアカツヤカミキリ（総合対策外来種）の情報提供のお願い

次回開催日 | 5月14日（日）13：30～16：00

※運営会議への提案や傍聴を希望される方は、公園管理事務所までお申し出下さい。